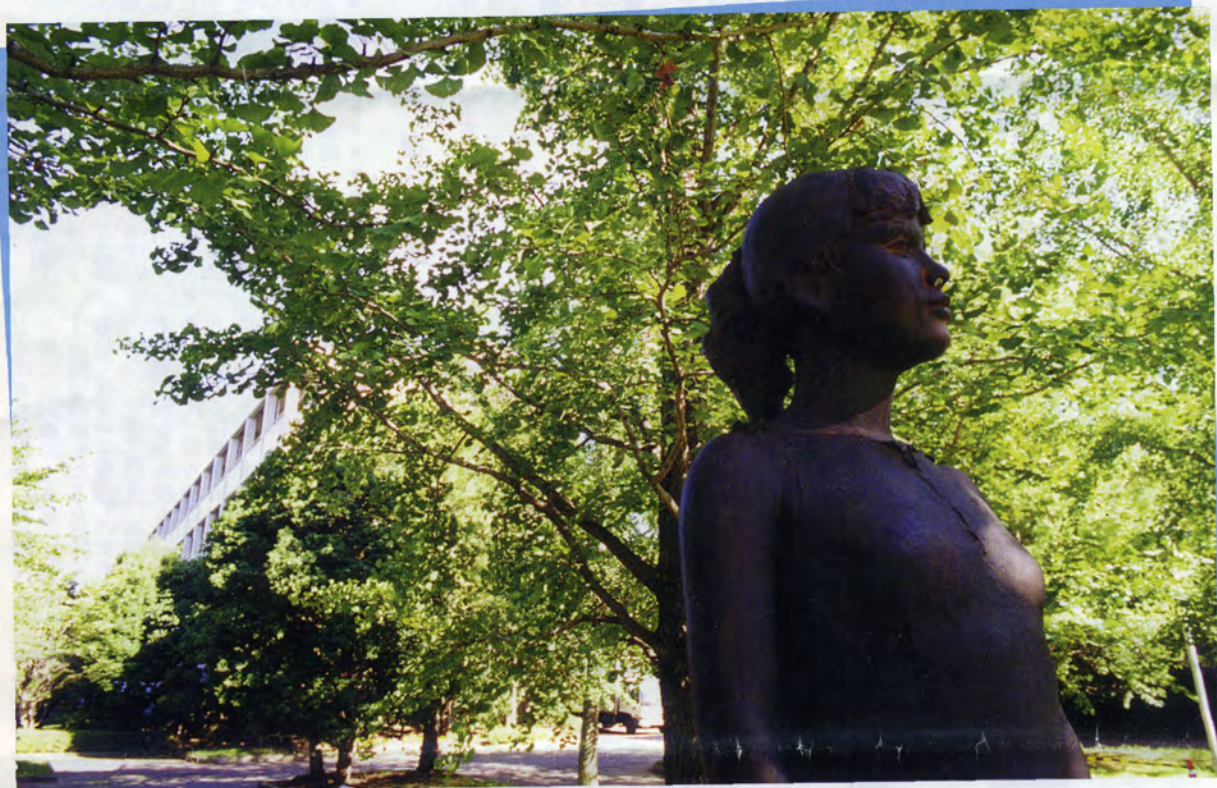


聖朋



第9号



聖徳大学附属聖徳高等学校・聖朋会

聖朋会の皆様へ

学園長 川並 弘昭



皆さまが、皆様に
は、折々に
はご健勝に
ことお返し
ことと存じ
ます。月日の経つのは早いもので、母校も開校してから十七年になりました。お陰様で「女子教

育の聖徳」の伝統を生かしなが
ら順調な発展を続けております。
近頃は中学生高校生年代の若
者による凶悪な犯罪や悲惨なリ
ンチ事件が続発して、社会の大
きな問題になっていきます。原因
は一概にはありませんが、私は
その一つに家庭教育の崩壊があ
ると思います。家庭において子

どもにきちんと躾を身に付けさ
せることが重要であると考えま
す。特に母親となる女性にこ
ろしてほしいと思っております。
また、少子化現象の進む今日、
志願者の減少は母校も例外では
ありません。どうか皆様には一
人でも多く後輩を紹介して頂
だきたいと思っております。二十
世紀を間近かにして、皆様の一
層のご活躍とご多幸をお祈り申
します。

聖朋会の発展を期待して

校長 櫻井 徳郎



会員の皆
様にはま
ますこと
と活躍
います。昨

き年に当たります。この記念す
べき年にあやかっけて本校では
中・高二貫教育を目指して、
普通科の進学コースに期待の大
きい児童保育系を新設いたしま
した。五月には卒業生の貴重な
体験を保育の授業時間の中で講
師として指導していただきました
が大変好評でした。これから
母校の計画にぜひご協力を頂
ければ幸いです。

また、五月・六月には本校の
全生徒を対象に聖徳大学から三
十三名の先生方をお迎えして出
前授業をしていただきました。大
変役に立つことと思っております。
それから今年の六月一日から
懸案であったスクールバスの路
線を拡張し、成田市、野田市、
八郷町方面から母校に乗り入
れることになりました。したが
って、現在ではつとくば市、江
崎町、境町、三和町からのバス
を合わせると十台が運行してお
ります。利用者は三百四十五人
で三人に一人が利用しているこ



数学科

羽根田(石崎)俊子



聖徳では、素直で明るい生徒のみなさんと、信頼できる先生方に囲まれ、学ぶことの多い四年間を過ごすことができました。教師という職の責任感と充実感を教えてくださいました。この人間的に素晴らしい環境は去り難く、現在も引き続き、非常勤講師として週四日勤務しております。母校へ遊びに来た際には、どうぞ、声を掛けてください。

英語科

小野坂貴司



私は今年三月に本学園を退職しました。この学校は大学卒業後初めての職場で、失敗することも多く、今思うと先生方や生徒さんたちに迷惑をかけてしまったことが思い出されます。今は実家に戻り海外留学への準備をしています。今後本学園での経験を生かし、頑張っていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

聖朋

会名簿が発行され、会員相互で旧交を温めることが出来たのではないのでしょうか。活動面では古橋会長さんを中心に役員の方々の協力、生涯学習に視点をのけた同志会の活動が計画され、着々と実行に移され心強い限りです。これからも皆さんの創意工夫で、いろいろなサークル活動ができるよう期待しております。その成果をぜひ聖徳祭・体育祭や地域での発表をとおしてご披露いただけたら、生徒にとっても生涯学習のすばらしさを理解するよい機会となります。ここで、母校の近況をお知らせいたしました。今年度は聖徳学園にとって大学創設十周年、短大創設三十五周年、大学院博士課程が設立するという記念すべ

き年に当たります。この記念す
べき年にあやかっけて本校では
中・高二貫教育を目指して、
普通科の進学コースに期待の大
きい児童保育系を新設いたしま
した。五月には卒業生の貴重な
体験を保育の授業時間の中で講
師として指導していただきました
が大変好評でした。これから
母校の計画にぜひご協力を頂
ければ幸いです。

また、五月・六月には本校の
全生徒を対象に聖徳大学から三
十三名の先生方をお迎えして出
前授業をしていただきました。大
変役に立つことと思っております。
それから今年の六月一日から
懸案であったスクールバスの路
線を拡張し、成田市、野田市、
八郷町方面から母校に乗り入
れることになりました。したが
って、現在ではつとくば市、江
崎町、境町、三和町からのバス
を合わせると十台が運行してお
ります。利用者は三百四十五人
で三人に一人が利用しているこ

わくわく育児

〈はじめに〉

子育ての難しい時代であるとか、少子化になんとか閉止めをかけねばならないとか、子どもに関する課題が山のような今日です。子どもを産み育てるといふ大昔から行われてきた人間の自然な営みが、なぜこうもややこしくなってしまったのでしょうか。育児のつらさや事件に結びついた恐ろしが強調され、本来の楽しさが忘れられかけているのではないのでしょうか。

「六つになった」A・A・ミルン

一つときは
なにかもかはじめてだった。
二つときは
ぼくは まるっきり しんまいだった。
三つときは
ぼくは やっと ぼくになった。
四つときは
ぼくは おおきくなりたかった。
五つときは
なにかならなまで おもしろかった。
今は六つで
ぼくは ありったけ おりこうです。
だから いつまでも六つでいたい
ぼくは 思います。

これは「熊のプーさん」で知られるミルンの詩です。子どもの心の成長発達を、あどけなくユーモラスに、そしてびつたりと表現しています。

子どもとともに、わくわくするような毎日を大切に過ごして欲しいとの思いから、このコーナーを担当します。この詩のように子どもの発達にそって述べていこうと思います。今回は0歳児です。

〈乳児期・人生の根っこ〉

平和で安全な母の胎内という小宇宙から、未知の外なる世界へ押し出され、命綱というべき臍帯も断ち切られて、赤ちゃんはたった一人で生かされます。人はこの時の衝撃や不安を記憶していないから、死の恐怖から免がれると言われるほどの誕生のショックです。母を乗り越えて生きて行くのは、全てを受け入れてくれる母との出会いがあるからでしょう。

赤ん坊は、おなか为空くと泣いて訴えます。母はその泣き声に応じて胸に抱きしめ、頬ずりをし、愛撫をし、優しい声をかけながら肌と肌を合わせておっぱいを飲ませます。こうして乳児はおっぱいを吸いながら、深く大切なものも吸い続けます。愛情に裏打ちされた信頼感も吸い続けているのです。

ところが、育児の不安ででしょうか、家庭生活のイライラが原因でしょうか。赤ん坊の要求を受け止めることができずに、行き違いの多い扱いばかりをしてしまうと、子どもの心の奥深くに、人間への不信任を植えつけてしまいます。笑ってもほほえみ返してくれる人のいない赤ちゃん。発声に対してことばを返してくれる人のいない赤ちゃんは、人としての能力を準備しているのに、それを開花できないのです。

木にとえれば、乳児期は根っここの部分を育てます。しっかりと根を張り、枝を大きく伸ばして花や実をつけるように、安定した親子関係を作りあげておきましょう。

深刻にならずに、無理せず自然体でいきましょう。「後からこの世にやって来た小さな人が、いつの間にか自分と並んで歩き、気がつけば一歩も二歩も先に行っている。」それが子育てかたな私は実感しています。子どもと共に歩める幸せを、存分に味わえるといいですね。ご健闘を祈っています。

子育て世代の会員の方に送る新コーナー
今回は清水洋子先生が書いてくださいました。

皆様お元気でお過ごしのこと
思っています。
早いもので、聖朋会も今年で発
足十五周年を迎え、会員数も六、
一〇五名となりました。
昨年今までの活動に加え、初
の体育祭参加を果たし、五年ごとに作成の聖朋会名簿
の発行では、前回とは違う名簿の厚みに聖徳の歴史を
感じました。また、これまで会員の交流の場は総会と
聖徳祭だけでしたが、もっとと親睦を深めようというこ
とで先生方のご協力により、念願のサークル活動を実
施することができ、今回二回目を開催と大変嬉しい限
りです。
聖朋会では今後ますますの皆様の充実と発展を願う
とともに、これまで以上に会員同志の親睦を図るため
活動を行っていききたいと思っております。ご協力を宜しくお
願ひいたします。



ごあいさつ

会長 古橋 裕美

新役員の皆さん

よろしくお祈りします。

会長	古橋 裕美	(8期)
副会長	小林 美香子	(4期)
〃	河野 美由貴	(〃)
監査	海老原 香	(14期)
〃	杉野 聡美	(〃)
書記	山中 奈津子	(11期)
〃	六本木 久美	(14期)
会計	渡邊 映子	(13期)
〃	濱井 祥子	(14期)

「わくわく広場」(保育実習室開放)のお知らせ

会員の皆さま、こんにちは。
学業に、職業生活に、家庭生活に充実した日々をお
過ごしのことと存じます。聖朋会員も6,000人を越
え、年齢層が広がってまいりましたので、会員の各年代に
合わせた企画を取りあげていきたいと思っております。まず
今年度は、子育て世代を応援する方法として、「わくわ
く広場」を開設することにしました。

子ども連れて母校を訪れ、懐かしい教室で旧友と語
り合ったり、育児情報の交換をして下さい。楽しい時
間を過ごして日頃のストレスを発散しませんか。そんな
交流の場として、月に2回(第2・第4木曜日午後)
保育実習室を会員の皆様へ開放します。

本年度から、児童保育系クラスが設置されました
ので、ゆくゆくは生徒達による楽しい企画で、文字通り
の「わくわく広場」にしたいと思っております。

なお、おいでになる場合は前々日(火曜日)までに、
清水までお電話下さい。おいでを楽しみにしています。

「わくわく広場」予定 第2、第4木曜日13:30~15:00

9月14日・28日	1月11日・25日
10月12日・26日	2月 8日・22日
11月 9日	2103教室
12月14日	(保育実習室)

会員の活躍

私たち がんばってます

特別養護老人ホーム

四期（普通科） 体育コース

島田 奈実

高齢化が急速に進み福祉への関心やニーズが高まっていますが、私は短大で「介護福祉士」の資格を取得し、現在、港区にある老人ホームに介護員として勤務しています。

小さい頃から祖父母が身近におり、高齢者と接することに抵抗がありませんでした。この仕



事は想像以上にハードですが、高校時代ハンドボール部で培っ

体力

や、学

生時代

の実習

が役立

ちどの

くらい

柔軟に

対応で

きるの

かが求

められ

ます。

介助だ

けでな

く、機

能回復

や

維持そ

して楽

しみの

ため

に創作



活動もします。高齢者介護の現場は人を感動させる貴重な職場です。

介護を通じて学ぶことも多く、やりがいを持って頑張っている手ごたえのある仕事です。

この仕事は人生の先輩の生きる手助けをする仕事だから、介護される人を敬う気持ちを持っていないといい仕事はできません。これからも、高齢者と共に明るく楽しい毎日を過ごしていこうと思います。

ことと

十五期生のページ

東京女子体育大学
体育学部体育学科 一年

十五期（体育科） 野口 麻実

私は東京女子体育大学に在籍しています。部活動は高校のときと同じダンス部に所属し練習はほぼ毎日ですが休みはたまにしかありませんが、とても楽しく皆

でわきあいあいと活動しています。学校までは、自宅から電車で二時間以上かかり、放課後の練習を終えて、帰宅するのは十時過ぎになってしまっています。毎日充実した日を送っています。

私はダンス部に憧れの先輩がいます。ダンスがうまいだけではなく、人間的にとっても素敵な先輩です。私も三年後、部活を

引っぱっていく立場になります
が、その時には、先輩のように
素敵な人になってみたいです。



本人は左

武蔵野音楽大学一年

(音楽科) 島崎 光世

私は四月から、武蔵野音楽大
学に通っています。本校は緑が
多く、自然と音楽とが共存して
います。授業は専攻楽器のピア
ノを主にいろいろな角度から音
楽を学んでいます。中でも今私
が一番好きな授業は、合唱です。
三つのパートに分かれた響きは
とても美しく、次にどのような
響きに進行するのか期待させて

神田外語大学外国語 学部英米語学科一年

(英語科) 横尾 仁美

大学に入学し二ヶ月が過ぎた
今、本日に充実した日々を送っ
ています。英語力向上のため大
学では英語を意志伝達的手段と
し友達や先生と接しています
が、最近とても楽しいと思える
ようになりました。一日中英語
を話していると感じられます。
神田外語大独自の授業は常に私
の英語力を高めてくれるもので
他大学では決して味わえないも



くれます。また、楽譜通りの音
でパッと調和した響きになる

のが沢山
ありま
す。入学
してまだ
半年たっ
ていませ
んが、私
はこの大
学に入学
できたこ
とを心から
うれしく
思ってい
ます。



暑中お見舞 申し上げます



と、さすが音楽大学だな、と実
感します。このように、今私が
音楽を楽しんでいるのも、尊
敬する聖徳の先生方、励ましあ
える友人、そして両親のおかげ
です。

今は漠然とはありますが、
たくさん夢を持っています。
これからは、その夢に向かって
努力していきたいと思えます。

女子栄養大学一年

(普通科) 高城 幸代

みなさんこんにちは。私は女
子栄養大学の一年生です。今、
栄養学を学んでいます。

学長先生の授業では食品の重
量をはかったり、自分の食事を
記録し食生活を見直したりして
います。今までは違う発見が
ありおもしろいです。大学に入
学して一番感じた事は自分の意
志をしっかり持ち続けることが
大事だということです。このこと
の難しさを知りました。サーク
ル活動にも参加し楽しい日々を
送っています。これからも自分
の目標に向けてがんばりたいで
す。



総
会
報
告

昨年九月四日、取手のセントラルホテル「さつき」において平成十一年度聖朋会総会を開催いたしました。会員の皆様をはじめ、先生方にもご参加いただき、年間の事業報告・収支決算予算案・奨学金支給等の審議を行いました。総会後は会食を行い、会員同士の親睦を深めることが出来、楽しいひとときをもちました。このような企画を続けていき、さらに多くの方々の参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。



平成12年度
聖朋会総会のお知らせ

総会後に懇親会を行います。楽しい会にしたいと思いますので、皆様お誘い合わせのうえ、どうぞご参加下さい。

日時 9月2日(土)17:30～総会
18:00～懇親会
場所 アンブローアーズ
取手駅西口徒歩5分
TEL0297-73-6300
会費 2,000円



平成11年度聖徳祭報告

昨年十一月三日第十七回聖徳祭が開催され、聖朋会は五度目の参加となりました。今年も模擬店を行い、昨年も好評だった玉こんにやくと駄菓子を中心に販売しました。玉こんにやくは前日から食堂の厨房をお借りして大釜で煮込み味がしみた美味しい玉こんにやくが出来上りました。当日は生徒や一般のお客様が沢山来校し、聖朋会の会場は大いにぎわいました。聖朋会では今年も十一月三日の聖徳祭への参加を予定しています。昨年以上に楽しい企画を考えています。ひとりでも多くの方々のご来場をお待ちしております。



平成11年度体育祭報告

十月三日、第十六回体育祭が行なわれました。天候は少々心配され、途中雨にも降られましたが、無事全種目終了できました。その種目中、その後援会種目があり、私達、聖朋会も参加しました。世代を越え、年齢差も気にせず、参加したみんなが一丸となって、一生懸命そのものでした。その時の勇姿は聖朋会を誇れるものです。今年こそ、あなたの出番です。是非参加して、いい汗を一緒に流して下さい。そして充実感を味わってみませんか？ 恩師の先生や旧友と会う良い機会でもあります。お待ちしております。



サークル活動の報告とお知らせ

昨年10月に、はじめてサークル活動を行いました。清水先生に講師をお願いし、「中華風おこわ・菊の花と大根のサラダ・お吸いもの・黒砂糖の寒天よせ」を作りました。

参加人数は少なめでしたが、わきあいあいと楽しく調理することができました。とてもおいしかったです。

前回とても好評だった為、今年も料理教室を開催したいと思います。お子様連れの方もぜひご参加下さい。



日時 10月22日(日)10:00～12:00
場所 聖徳高校調理室
参加費 500円
持ち物 エプロン

〈メニュー〉子どもと作るパーティー料理

今回は講師に女子栄養大学の先生をお招きします。参加申し込みの方は、9月15日までに聖朋会役員小林(0297-52-2199)までご連絡下さい。

※先着30名とさせていただきます。尚、今後開いて欲しい講座がありましたら、ぜひご連絡下さい。

部 活 動 報 告

■バドミントン部■

現在の部員は、18名と少ないのですが、元気に明るく毎日の練習に励んでいます。今のチームは、初心者が多いので基礎を中心に練習し、コートの中では、一人一人が声を出し「雰囲気作り」を課題にし、励まし合いながら頑張っています。

これから始まる夏の暑い練習では、6年生が引退して人数が少なくなるけど、暑さに負けず、そして自分自身に負けないう、一つでも多くの試合で勝てるように、厳しい練習にも立ち向かっていきたいです。

卒業生の皆さん、試合の時や日曜日の練習の日など、お時間がありましたら、可愛い後輩のためにも、第一体育館にお越し下さい。

部員全員でお待ちしております。

バドミントン部主将 亀石真菜美



■合唱部■

4月の新入生への部活発表のゴスペルがよかったのか、たくさんの新入生を迎え、楽しく活動しています。合唱部は「歌を歌う部活」なので喉の調子が悪いと遅れをとってしまいます。しかし、そんな時も部活に参加して音とりをしたり、一人一人の努力が見えてきました。

今年度は、例年の定期演奏会、文化祭、第九の夕べへの参加に加えて、何か大きな目標があった方がいいということで、他のコンクールへの出場も予定されています。今までにはなかった提案に、部員のやる気が感じられます。卒業生の皆さん、ぜひこんな私たちの姿を見て、文化祭や第九の夕べの演奏会にお越し下さい。お待ちしております。

合唱部一同



〈速報！インターハイ出場〉

*陸上競技部 (8年連続10回目の出場)

〔100m〕	植村 愛		
〔400m〕	小山 真理		
〔4×100m R〕	植村 愛	小山 真理	
	吉宮 照子	吉宮 梨恵	
	小川 美幸	豊野由希江	

〔砲丸投〕 森戸 麻美

〔円盤投〕 森戸 麻美

【日程】8月1日～5日岐阜県岐阜市 世界イベント村ぎふ

*駅伝部 (4年連続4回目の出場)

【日程】8月1日～5日岐阜県岐阜市 世界イベント村ぎふ

*新体操部 (12年連続12回目の出場)

〔個人〕	吉田 理恵		
〔団体〕	小関 愛	中村菜津子	
	吉田 理恵	島田 実奈	
	川田 智恵		

【日程】8月10日～12日岐阜県岐阜市 世界イベント村ぎふ

〈平成11年度関東大会結果〉

*陸上競技部 総合第2位 (13年連続13回目の出場)

*駅伝部 (5年連続5回目の出場)

〔800m〕	出場	平澤さやか	
〔3000m〕	第6位	松川 恭子	
	出場	山崎 宏美	

*新体操部 (12年連続12回目の出場)

〔個人〕	19位	吉田 理恵	
	28位	島田 実奈	
〔団体〕	16位	小関 愛	中村菜津子
		吉田 理恵	島田 実奈
		川田 智恵	

編集後記

会員の皆さま、お元気ですか。

今春、第15期生を迎え、聖朋会も6,000名をこえる会員数となりました。

会員の皆さまは、子育てに、仕事に、勉学にと、各方面で充実した日々を過ごされていることと思います。

忙しい生活の中で、この会報を目にし、少しでも母校のことを思いだしていただければ幸いです。

総会には先生方もご出席の予定です。総会後の懇親会では、子育てや仕事の悩みなど大いに語りあえる場にもしたいと思っています。会員の皆さまとの多くの出会いを楽しみにしています。

事務局

〒300-1544

茨城県北相馬郡薩代町山王1000

聖徳大学附属聖徳高等学校内

TEL 0297-83-8111

FAX 0297-83-8116

E-mail:seitoku@po.sphere.ne.jp

http://www.seitoku.fujishiro.ibaraki.jp/

(新しいホームページとなりました。ぜひご覧ください。)

発行 聖徳大学附属聖徳高等学校聖朋会

発行日 2000年(平成12年)8月5日

編集・印刷 (株)リサーチ ☎048-738-8929